

# 9月のほ本

その日のまえに 一重松清

死を目の前にした人とその家族や周りの人を描いた短編集。どの作品も重松さんらしい、リアルな心情の書き方で惹き込まれます。もし自分がこの登場人物だったら、この状況におかれたら... 改めて生と死を深く考えられる本です。ぜひ読んでみてください!!

SI-C H.C.A.N 集英社

ニーツ・ザ・ワールド 金原ひとみ

幸せになりたいくて婚活を始めた腐女子、由嘉里。ある日、最悪な合コンの帰り道で酔い潰れて動けなくなってしまった。そんな時、キャバ嬢であるライと出会う。由嘉里を助け、家にまで入れてくれたライは言った。「私、死ぬよ。」価値観も性格も何もかも違う2人の共同生活が始まる。

{この闇と光}

著/服部まゆみ 角川文庫

盲目の王女。いや、父である王の愛を一身に受け育ってきた。しかし、ある時恐るべき真実が明らかになる。見えることが幸せなのか。見えないことが幸せを作ったのか。とても面白い小説なのでぜひ読んで下さい!

SI-D K.I.M.N

ひと 祥伝社文庫 小野寺史宣

両親をなくし、一人になった主人公、柏木聖輔が惣菜屋でコロッケを見知らぬお婆さんに譲ります。たのび50円のそのコロッケから不思議な縁が生まれる、心温まるストーリーです。ぜひ読んでみてください。

SI-E M.O K.O

スイッチを 押すとき

作者 山田悠介 / 出版社 角川文庫

人間の心の奥底に潜む葛藤や選択の瞬間を描いた、緊張感あふれるカスペンス小説です!! 登場人物たちの複雑な感情と決断が交錯し、深いことを考えさせられる作品になっています!!

SI-A 津坂暁音・橋本珠